

若い力で作り上げる 乳幼児とのふれあいイベント♪ 手稲 ぱわふる☆きっず らんど



次の世代を担う小学生や中高生、大学生を対象に、市では「次世代育成支援事業」を展開しています。この事業では、生徒や学生の皆さんが、乳幼児とのふれあいなど子育てに関するいろいろな体験できるほか、その体験を通じ、自らの力を発揮できる場を提供しています。併せて、地域住民や子育て家庭とのつながりをつくるとともに、子育て家庭への関心を高めていきます。

その事業の一環で、乳幼児がさまざまな年代の人と交流する場として昨年まで開催していた「手稲わいわいひろば」が、今年は学生たちの手で新しく生まれ変わります。

今月は、新イベント「手稲ぱわふる☆きっず らんど」を学生たちが一丸となって準備し、作り上げていく様子を紹介します。

大学生・高校生のパワーが集結!!

新イベントのスタッフ募集に手を挙げたのは、北海道工業大学と手稲高校、稲雲高校、あすかぜ高校の有志たち。メンバーは、「広報部会」、「企画部会」、に分かれ、活動の第一歩を踏み出しました。

「広報部会」は、チラシやポスターなどの作成や配布。「企画部会」は、当日の「あそび」や出し物などの内容の検討と道具の制作や準備。大学生は各部会に所属しながら、「事務局」のメンバーも兼任し、スタッフ会議の運営やスタッフの役割分担の検討、各部会間の連絡調整を行いました。

スタッフ会議では、たくさんの子どもたちが遊びに来て、楽しんでくれることをイメージしながら、イベント名やチラシのデザイン、「あそび」などのアイデアを積極的に出し合い、決めていきました。日頃、親子と交流している主任児童委員の皆さんもアドバイザーとして会議に参加。より、乳幼児に適した「あそび」となるよう、学生たちの想像力豊かな思考から生み出されるアイデアに的確なアドバイスを送っていました。

イベント名は、メンバーの意見をもとに事務局が候補を四つに整理し、メンバー全員で検討して、「手稲ぱわふる☆きっず らんど」に決定しました。「あそび」や出し物の詳細も決まり、各部会ではイベント当日に向け作業をスタートしました。内容については、楽しみにしてください♪

たくさん集まってくるといいな



子どもたちがワクワクするようなポスターを作ろう!

みんな喜んでくれるといいね



小さい子って、どんな「あそび」が好きなのかな?

広報部会が作った力作ぞろいのチラシのデザイン案。いろいろな場所に掲示するので探してみてね!



スタッフ、全員集合!

夏の日、みんなの力で盛り上げよう!

